



紫陽花がきれいな花を咲かせる季節になり、梅雨がもうすぐやってきますね。新学期に入ってから、オリエンテーションや授業以外で図書室に来たことがない人は、ぜひ1度訪れてみてください。初めて見る本や、新しい友達との出会いが待っているかもしれません。



6月10日は時の記念日

西暦671年、天智天皇が唐から伝えられたという漏刻（水時計）を建造し、「時の奏」（太鼓や鐘を打って時を知らせること）を行ったという記事が『日本書紀』にあります。この日が現在の太陽暦に直すと、6月10日だったことに由来します。



📖『午前3時に電話して』 小手鞠るい：著 講談社

みなみ、愛理、雄大、晴樹の4人は、リレーの仲良しメンバーでした。しかし、みなみはあることが原因で卒業式直前に転校し、音信不通になります。ブックカフェにあった1冊の白い本をきっかけに、3人はみなみの今の気持ちを知ります。友達からの優しい気持ちにホッとする物語です。

📖『時の扉をくぐり』 甲田 天：作 太田大八：絵 BL出版

37歳の若さで生涯を閉じた画家のゴッホが、「できることなら、一度は日本に行ってみたかった」と神様に祈ると、いつの間にか江戸の歌川広重の家の庭に立っていました。さらに葛飾北斎にも会ってみたいというゴッホを連れて、北斎のいる信州の小布施まで旅に出るという面白い話です。

📖『1秒の長さは、だれがきめたの?』 清水徳子：著 アリス館

『江戸怪談集』に登場した江戸時代の時間に興味を持ち、スポーツの世界記録の歴史にあった分数表記から、1秒の長さに疑問を持った著者。1秒は、暦(カレンダー)や天文学、原子時計になってからは物理学とも関係し、その度に定義され改定されてきました。これからは新しい1秒の定義が生まれるかもしれないので、皆さんも注目してみてください。



8. 働きがいも経済成長も

—包括的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の
完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する—

経済成長率を維持し、技術の向上と多様化で経済生産性を上げる。金融サービスを含む開発支援や起業支援、生産と消費の資源効率を改善する。最悪な労働形態をなくし、安心して安全な労働環境を促進する。地方の観光業や開発途上国の貿易を援助する。

『はたらく』

長倉洋海：著

アリス館

児童労働は、「子供が働くこと」全てを表す言葉ではありません。ここに写っているさまざまな国や地域で働く子供達の表情は、皆とても清々しく誇らしげです。「はたらくのは、食べるためだけじゃない。」と著者が感じた理由を、皆さんもこの絵本の中から見つけてください。

この本、読んでみませんか？

(図書委員長 実空さんのおすすめ)

『都会(まち)のトム&ソーヤ』シリーズ はやみねかおる：著 講談社

超巨大企業の御曹司で、学校始まって以来の秀才の竜王創也と、塾通いに追われ、平凡だがサバイバル能力だけは人並み外れている内藤内人。この二人が、クイズ番組や夜のデパートなどを舞台に謎のゲームクリエイターに挑戦します。先の展開が読めず、創也の華麗な謎解きや内人のサバイバル術に驚かされ、ページをめくる手が止まりません！皆さんも、二人と一緒に冒険に出発してみませんか？

